

教育目標 「希望を持ち、つながりを育み、主体的に努力する生徒の育成」

平成24年度

広島市立

第1号

大州中だより

大州中学校

平成24年度の大州中学校がスタートしました

4月6日(金)、待っていたように花開いた桜の中、ご来賓ならびに保護者の皆様にご臨席いただいて第55回入学式を挙行し、男子84名、女子99名、計183名の新一年生が大州中の新しい仲間になりました。

式の中では、学校長の式辞、PTA会長木村様の祝辞に続き、PTAからの記念品を小松蒼史くんが代表して受け取りました。また、生徒会長林くんが「困ったときこそ、ぼくたち上級生が力になります。」と歓迎のあいさつを述べ、続いて先輩たちから、励ましの言葉をそえて各クラスの代表に花束贈呈が行われました。結びに平井肇くんと三石梨帆奈さんが、「先輩方を目標にして勉強や部活動がんばり、苦しいことがあっても力を合わせて乗り越えていきます。」と新入生を代表して力強く誓いました。

式に続いて一年生の各教室では学級開きが行われました。どのクラスもさわやかな緊張感と明るい笑顔に包まれて中学校生活のスタートを切ることができ、続く学級懇談会では早速PTA役員さん決定の運びとなりました。

また、午後は始業式を行い、2年生168名、3年生173名とあわせ、全校524名の24年度大州中学校がスタートしました。



PTAより記念名札贈呈



林 生徒会長より歓迎のことば



午後からの2・3年生始業式



生徒会からの花束贈呈



新入生代表 誓いの言葉

新年度にあたってのごあいさつ

いよいよ平成24年度が始まりました。大変重い意味を持つ一年となった昨年度を振り返り、中学校卒業後の社会で困難に出会ってもくじけずたくましく歩んでいける生徒を育てたいと考え、本年度からの教育目標を「希望を持ち、つながりを育み、主体的に努力する生徒の育成」と掲げました。将来の希望実現の土台となる学力・体力の向上、社会で通用する規範意識やマナーの育成など、多くの課題に教職員力を合わせて取り組んでいく所存です。中でも食事や睡眠をきちんととること、学年にふさわしい家庭学習習慣を身につけること、あいさつや返事が元気にできることなど基本的な生活習慣の確立は重要な力になります。ご家庭と力を合わせて大切な子どもたちを育てていきたいと思っておりますので、保護者の皆様にもご理解・ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

広島市立大州中学校長 丹 孝子

文部科学大臣より、中学・高校生のみなさんへ新年度のメッセージが届きましたので、裏面に掲載します。